

# 事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-01-01	戦略プラン	●協働	○業務	○財務	○人事
事務事業名	文化振興事務費	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	佐藤	担当者名	安藤
							内線
							2521
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	01-01-02	事務費					
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度）		○建設事業		●それ以外の継続事業		
開始年度	●昭和 ○平成 63年度		根拠	西日暮里ギャラリー運営要綱			
終期設定	○有 ●無 年度		法令等	荒川区芸術文化事業共催要綱			
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	●計画 ○非計画			
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市				
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進				
	施策	01	芸術・文化の振興				
目的	区民が芸術文化に触れる機会の拡充を図るとともに、地域の文化資源の発掘と積極的な情報発信を進める。						
対象者等	区民及び区外からの訪問者						
内容	①芸術文化振興プラン：プランに掲げた事項について、着実に推進する。 ②ディスカバーあらかわ：一般公募した区内の風景・風物をテーマとした作品を展示。優秀な作品に荒川区長賞(1点)、荒川区長奨励賞(3点)、社団法人太平洋美術会会長賞(2点)、荒川区美術連盟理事長賞(2点)を授与。 ③西日暮里ギャラリー：西日暮里駅高架下の展示スペースを希望者に貸出。（6か所、最長2週間） ④太平洋展：太平洋美術会が主催する太平洋展で優秀な作品2点に区長賞を授与。 ⑤JOBANアートライン協議会：常磐線沿線地域の活性化を図っていくことを目的とした協議会で、年に一度アートワークショップを開催。 ⑥芸術文化振興基金：基金を活用し、未来を担う子どもたちへの良質な芸術文化を提供するとともに、区の芸術文化を発展・継承させる。						
経過	①芸術文化振興プラン：「幸福実感都市 あらかわ」を芸術文化の側面から形成していくため、平成21年6月に策定、平成26年6月に改定。 ②ディスカバーあらかわ：平成7年度より太平洋美術会の協力で実施。17年度から荒川区美術連盟の協力も得て一般公募形式とし、広く作品の募集を行っている。平成19年度からは、絵画以外に版画・染織・彫刻の出品も可とした。 ③西日暮里ギャラリー：平成9年度に道路課が高架下の修景事業として設置。維持管理は道路公園課、運営は文化交流推進課。 ④太平洋展：平成9年度から、太平洋展にて荒川区長賞を授与している。 ⑤JOBANアートライン協議会：H18年協議会設立総会開催。 ⑥芸術文化振興基金：H28創設						
必要性	芸術文化活動は、人間の内面に対する探求を行うものである。芸術を鑑賞したり、自ら芸術文化活動を行うことは、区民の生活をより豊かにすることを可能にするものである。こうした地域の文化振興への取り組みは、区の重要な役割である。						
実施方法	（1直営） （直営の場合 ●常勤 ○非常勤 ○臨時職員） ①推進会議の開催。②一般公募したものを展示し、優秀な作品に賞を授与。③申請を受け内容を審査。④太平洋展の初日に授与。⑤負担金を支出。						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
予算額	4,638	4,157	4,846	6,926	5,013	3,909	3,963	
①決算額（28年度は見込み）	4,128	3,804	4,532	6,349	4,688	3,637	3,963	
②人件費等	2,180	2,964	2,478	6,654	5,794	5,618		
③減価償却費	726	1,089	968	2,704	2,438	2,491		
【事務分担当量】（%）	25	35	30	80	75	73		
合計（①+②+③）	7,034	7,857	7,978	15,707	12,920	11,746	3,963	
特定財源								
国	0	0	0	0				
都	0	0	0	0				
その他	0	0	0	0				
一般財源	7,034	7,857	7,978	15,707	12,920	11,746	3,963	
実績の推移	事項名							
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
太平洋展来場者数	18,269	22,824	19,513	21,412	25,337	21,633	24,042	
太平洋展出品作品数	1003	761	671	941	979	829	896	
西日暮里ギャラリー展示件数	11	20	20	23	20	21	25	
ディスカバーあらかわ応募点数	99	117	125	104	103	114	100	

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報酬	非常勤職員報酬	2,553	報酬	非常勤職員報酬	2,553	報酬	非常勤職員報酬	2,572
共済費	非常勤社会保険料	383	共済費	非常勤社会保険料	386	共済費	非常勤社会保険料	391
報償費	推進会議・起草委員会謝礼	256	旅費	近接地内旅費	65	報償費	芸文プラン推進会議謝礼	100
需用費	区長賞記念品、事務用品、印刷代外	831	需用費	区長賞記念品、事務用品、印刷代外	391	旅費	近接地内旅費・特別旅費	119
役務費	筆耕翻訳料	58	役務費	筆耕翻訳料	34	需用費	区長賞記念品、事務用品、印刷代外	482
使用料等	ディスカバー附帯設備	439	使用料等	ディスカバー附帯設備	158	役務費	筆耕翻訳料、ハガキ	50
その他	旅費・JOBANアトライン	168	負担金等	JOBANアトライン負担金	50	その他	ディスカバー附帯設備、負担金	249

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度 見込み	目標値 (28年度)	
標	① ディスカバーあらかわ区民応募率 (%)	49.1	51.0	50.9	52.0	52.0	
	②						
	③						

（問題点・課題 指標分析）	① ディスカバーあらかわの平成27年度の区民応募率は前年比で微減となったが、区民の応募数は増加している。引き続き、区民の応募が増えるよう周知を行う。
	他区の実況 (実施 0 区 未実施 0 区 不明 22 区)

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	「ディスカバーあらかわ」・「西日暮里ギャラリー」の区民応募率・利用率を向上させるため、区報などで積極的にPRする。	「ディスカバーあらかわ」・「西日暮里ギャラリー」の区民応募率・利用率を向上させるため、区報などで積極的に周知を行った。	区民応募率・利用率を向上させるため、引き続き区報などで積極的に周知する。
②			
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
推進	推進	地域の文化振興への取り組みは、区の重要な役割である。

況議 （要 旨） 会 質 問 状	
------------------------------------	--

# 事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-01-06	戦略プラン	○協働	○業務	○財務	○人事
事務事業名	緑と彫刻の街づくり事業	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	佐藤	担当者名	安藤
				内線	2521		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	01-04-01	緑と彫刻の街づくり事業費					
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度）			○建設事業		●それ以外の継続事業	
開始年度	●昭和 ○平成 60年度		根拠				
終期設定	○有 ●無		法令等				
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	●計画		○非計画	
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市				
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進				
	施策	01	芸術・文化の振興				
目的	緑の多い広場、公園やゆったりとした歩道など、区民の多くが憩い、集う場所に彫刻を設置し、新しい景観、ゆとりと潤いの空間を区民に提供する魅力あるまちづくりを推進することを目的とする。						
対象者等	区民及び区外からの訪問者						
内容	<p>(1) 彫刻作品の設置 生活にゆとりとやすらぎを創りだし、住み続けたい街、魅力ある街づくりの一環として彫刻を設置し、適切に管理するものである。 &lt;設置場所の基本的な考え方&gt; ①区民や区外の人が多く利用する場所（本庁舎前、主要駅、多数の区民の集う拠点施設、公園等） ②特定区民の利用する場所（学校、校外教育施設等） 設置場所、設置施設に適したシンボル性や親しみを感ぜられるものを設置してきた経緯がある。</p> <p>(2) 汐入タワーの管理 東京都が設置・所有する都立汐入公園（南千住8丁目）内の汐入タワーの管理および汐入タワーを活用した事業を展開する。</p>						
経過	<p>(1) 彫刻作品の設置 ・「緑と彫刻の街づくり事業」として昭和60年度から公共の広場、公園、道路などに計86体（うち寄贈38体）を設置。（H27年度で計86体） ・平成15年から平成18年は新規の設置は行わず、清掃・メンテナンス及び修繕のみ行ってきた。 ・平成23年度彫刻マップをHP上に掲載。</p> <p>(2) 汐入タワーの管理 当初は、平成25年度に解体を予定していたが、地元町会が制作に協力し、区民に親しまれている施設であることから、設置延長について東京都と調整を行った。平成28年度末まで設置を継続することとし、平成26年度より東京都と区により管理を行うこととした。現在、更なる延長について、東京都と調整している。</p>						
必要性	彫刻は、街にゆとりとうるおいを創出し、地域文化の向上と区のイメージアップを図るため設置してきた。「豊かさの実感できる社会」の創造が求められるなか、設置した彫刻が区民に親しまれるよう適切に管理していくことが重要である。						
実施方法	<p>（ 2一部委託 ） （ 直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員 ）</p> <p>(1) 彫刻作品の設置：彫刻作品の清掃・メンテナンスを行い、作品を適切に管理。 (2) 汐入タワーの管理：平成26年度以降、区が維持管理（要する経費を負担）。</p>						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算額		3,763	4,691	1,475	3,628	4,758	5,837	9,658
①決算額（28年度は見込み）		3,667	4,447	1,397	3,342	4,342	4,051	9,658
②人件費等		4,360	1,270	413	416	1,931	1,308	
③減価償却費		1,453	467	161	169	813	580	
【事務分担当量】（%）		50	15	5	5	25	17	
合計（①+②+③）		9,480	6,184	1,971	3,927	7,086	5,939	9,658
特定財源	国	0	0	0	0			
	都	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	9,480	6,184	1,971	3,927	7,086	5,939	9,658
実績の推移	事項名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	彫刻の清掃メンテナンス（体）	43	44	62	51	51	62	53
	彫刻の修繕数（体）	3	4	2	1	2	1	1
	区内の彫刻数（体）	69	74	77	80	82	86	88
設置数	3	5	2	3	2	4	2	

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
需用費	消耗品	270	需用費	彫刻修繕	324	需用費	彫刻修繕、消耗品	636
委託料	彫刻・壁画清掃、汐入タワー管理	2,101	委託料	彫刻清掃、汐入タワー管理	2,431	委託料	彫刻清掃、汐入タワー修繕	8,022
工事請負費	彫刻の移設	729	備品購入費	彫刻の購入	1,296	備品購入費	芸術作品購入費	1,000
備品購入費	絵画購入	1,242						

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度見込み	目標値(28年度)	
標	① 彫刻の修繕完了率(%)	100	100	100	100	100	修繕完了数（年度内）/修繕必要数
	②						
	③						

問題点・課題 (指標分析)	①身近な芸術作品として区民に親しんでもらえるよう、区内に設置している彫刻作品のPRを強化する必要がある。 ②平成29年度以降も設置を継続することとなった汐入タワーの安全管理と、設置延長に伴う修繕及び東京都との事務手続き等を適切に行っていく必要がある。
	他区の実況 (実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	作品のPRを図ることで、荒川区の魅力を発信できるような事業について検討する。	引き続き荒川区ホームページでのPRを行っているほか、彫刻修繕及び清掃を実施し、安全管理を行っている。	彫刻作品のより効果的なPR方法を検討するとともに、彫刻作品を活用した事業について検討する。
②	平成28年度のクロージグイベントの安全な実施に向け、検討を行う。	平成29年度以降も設置延長するための安全点検や修繕方法を確認した。	設置延長する際は、現在のタワー所有者かつ汐入公園管理者である東京都との手続きを適切に進める。
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
継続	継続	藝大との連携も含め新たな視点での彫刻設置を推進する。

況議 (要 会 質 問 状)	H19年1定 彫刻のPR（彫刻マップ等の作成）について
-------------------------------	-----------------------------

# 事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-01-08	戦略プラン	○協働	○業務	○財務	○人事
事務事業名	音楽のまちづくり推進事業	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	佐藤	担当者名	安藤
				内線	2521		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	01-06-01	音楽のまちづくり推進事業費					
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度）			○建設事業		●それ以外の継続事業	
開始年度	●昭和 ○平成 61年度		根拠	東京荒川少年少女合唱隊補助金交付要綱			
終期設定	○有 ●無		法令等				
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	○計画		●非計画	
行政評価事業体系	分野	V 文化創造都市					
	政策	09 伝統文化の継承と都市間交流の推進					
	施策	01 芸術・文化の振興					
目的	音楽を中心とする地域文化の振興を図り、区の芸術文化の向上に寄与することを目的とする。区に本拠地を置く東京荒川少年少女合唱隊は、合唱活動を通じて荒川区のイメージアップと区民の文化的水準の向上、青少年の健全育成に大きく貢献していることから、区が補助金を交付し活動を支援することで、荒川区の文化振興を図る。						
対象者等	東京荒川少年少女合唱隊 代表：大村 光彦 指揮者：米谷 毅彦 団員数：24名（平成28年4月現在）						
内容	≪合唱隊への補助金の支出≫ 合唱隊の活動に要する経費で、合唱隊が計画及び予算を決定する事業について、区長が認めたものを補助対象事業とする。 ≪参考≫合唱隊の主な活動状況 平成27年度 ・定期演奏会の開催等区内外で幅広く活動 （平成27年度はサンパール荒川が改修工事に伴い定期演奏会場変更のため、入場者数が減少） 平成28年度 ・50周年記念コンサート、定期演奏会等 ・平成29年3月に荒川区・ドナウシュタット区交流都市20周年記念演奏旅行を予定						
経過	昭和40年に創立され、区内外で幅広く活動している。 ≪合唱隊による演奏≫ ①区内での公演 平成15年度～18年度：区役所玄関ロビーにて年2回ミニコンサートを開催 平成17年度に、創立40周年記念のため記録ビデオ「こころで唄いあげた日々 東京荒川少年少女合唱隊40周年、そして未来へ」を作成。 平成22年度～：クリスマスツリー点灯式（ハッピーイズプロジェクトJR日暮里駅コンコース） ※このほか、荒川区新年祝賀会で合唱を披露している。 ②あらかわキャラバン事業への参加 平成23年度釜石市、平成24年度秩父市、平成25年度北杜市へ派遣						
必要性	荒川区のイメージアップ、青少年の健全育成や音楽を中心とした地域の芸術文化活動の広がりをもたらすため、全国的に知名度の高い合唱隊の活動を今後も支援していく必要がある。						
実施方法	（1直営）（直営の場合 ●常勤 ○非常勤 ○臨時職員） 補助金の支出については、補助要綱に基づき、事業内容を審査の上、補助金額を決定している。						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算額		1,915	1,852	1,852	1,852	1,852	1,852
①決算額（28年度は見込み）		1,852	1,852	1,852	1,852	1,852	1,852	1,852
②人件費等		1,308	2,117	165	832	386	539	
③減価償却費		436	778	65	338	163	239	
【事務分担当量】（%）		15	25	2	10	5	7	
合計（①+②+③）		3,596	4,747	2,082	3,022	2,401	2,630	1,852
特定財源	国	0	0	0	0			
	都	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	3,596	4,747	2,082	3,022	2,401	2,630	1,852
実績の推移	事項名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	隊員数	37	42	34	35	30	33	24
	定期演奏会来場者数	765	790	756	800	950	362	1000
	演奏回数	18	23	17	17	10	19	10

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
負担金補助等	合唱隊に対する補助金	1,852	負担金補助等	合唱隊に対する補助金	1,852	負担金補助等	合唱隊に対する補助金	1,852

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度見込み	目標値(28年度)	
標	① 定期演奏会来場者数(%)	67	74	80	75	75	会場の定員の9割を100とした場合の割合
	②						
	③						

問題点・課題 (指標分析)	①学校や地域などと連携した事業展開やメンバー募集を支援する必要がある。 ②区の行事への参加など、活動の機会や場所についての情報提供を区から積極的に行い、あわせて団体の活動の広報についても支援を行っていく必要がある。
	他区の実況 (実施 5 区 未実施 0 区 不明 17 区)

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	合唱隊がより幅広く活動を展開していけるよう、区として更なる情報提供や活動の場の提供を行っていく。	創立50周年記念式典等について、情報提供をはじめとする支援を行った。	リニューアルされたサンパール荒川での定期演奏会で支援を行うほか、その他の活動についても支援を行う。
②	区内他団体との調整をどのように実現していけるかを検討する。	区内の他音楽団体（荒フィル）等との連携について、ヒアリングを実施した。	引き続き他団体との連携について協議を行う。
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
継続	継続	合唱活動を通じた区のイメージアップと区民の文化的水準の向上、青少年の健全育成のため、支援を継続していく。

況議 (要 会 質 問 状)	
-------------------------------	--

# 事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-01-10	戦略プラン	○協働	○業務	○財務	○人事
事務事業名	日暮里駅前ひろば文化・交流事業	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	佐藤	担当者名	高田
							2521
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	01-08-01	日暮里駅前ひろば文化・交流事業					
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度）			○建設事業		●それ以外の継続事業	
開始年度	○昭和 ●平成	20年度	根拠	日暮里駅前広場文化・交流事業補助金交付要綱			
終期設定	○有 ●無	年度	法令等				
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	●計画		○非計画	
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市				
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進				
	施策	01	芸術・文化の振興				
目的	日暮里駅前の再開発事業に伴って作りだされた駅前ひろばの地の利を生かし、交流都市フェア・音楽イベント等を行い、区の芸術文化・地域振興・交流の活性化を図る。						
対象者等	区民、区外からの来訪者、交流都市の出展業者、アーティスト等						
内容	(1) 区（文化交流推進課）主催事業 ①交流都市フェア（郷土芸能・物産展） 交流都市を区民に紹介する物産展の開催、その都市を代表する芸術・文化、民俗芸能等の披露。 ②日暮里まちづくり実行委員会と連携したイベント 日暮里まちづくり委員会主催の音楽イベントと区主催の交流都市フェアを2日間連続で開催。 区内外のアーティストの紹介等を実施。 (2) 日暮里まちづくり実行委員会事業 ※補助金の交付 平成20年度～ 「日暮里フェスティバル駅前コンサート」（平成20年～平成23年・10月実施）、 「日暮里春まつり」（平成23年～・毎年3月実施：当初は桜まつり） (3) 交流都市主催のイベント：福島市（23年10月1・2日／24年9月29・30日／26年8月9・10日）						
経過	(1) 区（文化交流推進課）主催事業 ・平成20年度から開始。年に2度実施している。 ・平成23年度からは3月開催のイベントを日暮里まちづくり実行委員会が主催する「桜まつり（現・日暮里春まつり）」と連日開催することとした。 ・平成27年度からは「秋まつり」と「春まつり」を開催。 (2) 日暮里まちづくり実行委員会事業 ※補助金の交付 平成20年度～ 平成20年度～23年度は10月の「日暮里フェスティバル駅前コンサート」に補助金を交付していたが、24年度からは連日開催となった「日暮里春まつり」へ補助金を交付することとなった。						
必要性	日暮里駅前という地域特性を生かした交流事業は、多くの参加者を見込むことができ、区の芸術文化や都市間交流の振興、地域の活性化につながるため必要性が高い。						
実施方法	（2一部委託） （直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員） 出展自治体等と舞台・出展等について調整し、設営・運営については、民間事業者へ委託。						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算額		9,088	6,924	4,950	4,867	5,245	5,325
①決算額（28年度は見込み）		5,314	5,329	4,799	4,758	4,461	4,555	5,467
②人件費等		3,488	3,811	3,139	4,159	2,318	1,924	
③減価償却費		1,136	1,400	1,226	1,690	975	853	
【事務分担量】（%）		40	45	38	50	30	25	
合計（①+②+③）		9,938	10,540	9,164	10,607	7,754	7,332	5,467
特定財源	国	0	0	0	0			
	都	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	9,938	10,540	9,164	10,607	7,754	7,332	5,467
実績の推移	事項名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	イベント開催数（回）	2	3	3	2	3	3	3

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
需用費	出演者賄い	27	需用費	出演者賄い	60	需用費	出演者賄い	64
委託料	広告・イベント委託	3,688	委託料	広告・イベント委託	3,911	委託料	広告・イベント委託	4,403
負担金補助等	実行委員会補助金	746	負担金補助等	実行委員会補助金	584	負担金補助等	実行委員会補助金	1,000

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度見込み	目標値(28年度)	
標	① 区主催の日暮里駅前ひろばの活用数	2	2	2	2	2	イベントの開催数
	② 友好都市等の駅前ひろばの活用数	1	1	1	2	2	イベントの開催数
	③						

（問題点・課題分析）	①全国連携の一環として、荒川区と各交流都市にとってメリットのあるイベントを増やしていく必要がある。 ②イベント時の騒音や交通整理について、周辺住民に配慮する必要がある。
	他区の実況 (実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	区主催の駅前イベントを2回とも交流都市合同形式で実施し、より多くの交流都市が参加できるようにする。	平成27年度からは2回とも交流都市合同形式で実施したことにより、みなべ町など、新たな交流都市が参加できた。	全国連携の一環として、全国連携ブースを2テント提供し、全国の自治体が首都圏に出展できるようにする。
②	引き続き騒音対策を行うとともに、より魅力的なプログラムを実施できるよう検討する。	周辺住民の生活環境に配慮したプログラムを組み立てたとともに、新たな伝統芸能団体が出演した。	引き続き騒音対策を行い、より魅力的なプログラムを実施できるよう検討する。
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
推進	推進	都市間交流の推進、芸術文化の振興により、あわせて地域の活性化を図る。

況議 （要 旨） 問 状	
--------------------------	--



# 事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-01-11	戦略プラン	●協働	○業務	○財務	○人事
事務事業名	東京藝術大学との連携事業	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	佐藤	担当者名	安藤
							内線
							2521
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	01-09-01	東京藝術大学との連携事業					
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度）			○建設事業		●それ以外の継続事業	
開始年度	○昭和 ●平成		21年度	根拠			
終期設定	○有 ●無		年度	法令等			
実施基準	○法令基準内		○都基準内	●区独自基準	計画区分	●計画	○非計画
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市				
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進				
	施策	01	芸術・文化の振興				
目的	荒川区の隣接地に所在し、我が国の芸術文化の発展に大きな役割を果たしている国立大学法人東京藝術大学と、芸術・文化振興に係る事業はもとより、幅広く区行政全体にわたって相互の人材及び物的資源を最大限に生かした緊密な連携のもとに協力して事業を実施し、区における芸術文化の振興を図る。						
対象者等	東京藝術大学関係者等						
内容	(1) 東京藝術大学卒業生グループ「アブリュス」（以下「A+」という）と協力し、次代の芸術文化活動の担い手となる子どもを育むためのワークショップや講座、公開制作など芸術教育事業の実施、区民の芸術文化活動の振興のため展示会や制作講座などの企画実施を行い、芸術文化を介した交流の機会を提供する。 (2) 19年度から、東京藝術大学卒業・修了予定者が制作する彫刻作品を対象に荒川区長賞を授与し、受賞作品を区内に設置している。（22年度より「緑と彫刻の街づくり事業」から本事業に組替） (3) 22年度・24年度・25年度・26年度・28年度にA+に委託して地域と協力し壁画制作を実施。 (4) 文字や写真だけでは伝わらない荒川区の魅力を映像で内外に発信する「荒川区PR映像」を制作する。 (5) 東京藝術大学大学院映像研究科撮影スタジオの区内誘致を契機として、芸術文化の更なる振興を図る。 (6) プロによる本物の演奏と、専門家による教育を区内幼稚園の園児等に提供することにより、質の高い音楽教育を提供し、区の文化・芸術振興をはかる。						
経過	平成20年度：A+企画展開催（7月）、ワークショップ開催（2回）、「国立大学法人東京藝術大学・荒川区 芸術・文化振興のための連携に係る合意書」締結（12月） 平成21年度：水道局旧工業用水道事務所の一部をA+が活動拠点として使用（4月～24年8月） ワorkshop開催（8月・1月・3月） 平成22年度：常磐線第2三ノ輪ガード壁画制作（9～12月）、ワークショップ開催（4講座） 平成23年度：ワークショップ開催（6講座） 平成24年度：東日暮里第1・第2辻元ガード間壁画制作（6月～10月）、ワークショップ開催（6講座） 平成25年度：常磐線第3三河島ガード下壁画（南千住側）制作（10～1月）、ワークショップ開催（10講座） 平成26年度：常磐線第3三河島ガード下壁画（東日暮里側）制作（10～1月）、ワークショップ開催（6講座） 平成27年度：ワークショップ（美術・音楽）開催（8講座）荒川区PR映像（2種類）を作成						
必要性	区民が身近なところで、質の高い芸術作品や芸術家に触れる機会を創出することは、区民の自主的な文化活動の促進につながるため、必要性が高い。						
実施方法	（2一部委託）（直営の場合 ○常勤 ○非常勤 ○臨時職員） ワークショップを東京藝術大学音楽学部やA+に委託して実施している。						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
予算額	12,646	9,035	9,602	8,492	7,179	27,860	29,854	
①決算額（28年度は見込み）	11,525	8,222	8,569	8,226	6,666	17,905	29,854	
②人件費等	5,232	4,065	5,370	4,574	5,948	3,848		
③減価償却費	1,743	1,493	2,098	1,859	2,503	1,707		
【事務分担量】（%）	60	48	65	55	77	50		
合計（①+②+③）	18,500	13,780	16,037	14,659	15,117	23,460	29,854	
特定財源	国	0	0	0	0			
	都	0	0	0	0			
	その他	291	385	306	0			
	一般財源	18,209	13,395	15,731	14,659	15,117	23,460	29,854
実績の推移	事項名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	実施事業数	5	6	6	10	7	8	9
	藝大卒業修了制作作品数累計	8	10	12	14	16	18	20

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報償費	奨学金、ワークショップ講師等謝礼	2,389	報償費	奨学金、ワークショップ講師等謝礼	2,352	報償費	奨学金、ワークショップ講師等謝礼	2,514
需用費	消耗品購入	75	需用費	消耗品購入	166	需用費	消耗品購入	235
役務費	賞状筆耕	6	役務費	賞状筆耕	13	役務費	賞状筆耕	7
委託料	ワークショップ等事業実施委託	3,383	委託料	PR映像、ワークショップ委託	3,676	委託料	PR映像、壁画、ワークショップ委託	8,087
工事請負費	卒業作品設置工事	329	使用料等	水道局旧工水事務所賃料	10,236	使用料等	水道局旧工水事務所賃料	17,548
備品購入費	卒業作品設置ケース	484	工事請負費	卒業作品設置工事	1,462	工事請負費	卒業作品設置工事	1,463

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度見込み	目標値(28年度)	
標	① 藝大連携事業への参加人数	581	291	339	350	350	藝大連携事業への参加者数
	② 区内壁画の延べ数	3	4	4	5	5	
	③						

問題点・課題 (指標分析)	①これまでA+の協力で藝大連携事業を実施してきたが、他の団体や個人の芸術家との幅広い連携も視野に入れ、芸術文化活動のさらなる拡充を図る必要がある。 ②地域住民から愛され、景観を損なわない壁画を制作するため、デザイン決定や制作の過程に地域住民の参加を促す必要がある。
	他区の実況 (実施 5 区 未実施 17 区 不明 0 区) ・壁画の実施区の数

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	A+に加え、藝大区長賞受賞者等によるワークショップを実施する。	引き続き新たな講師によるワークショップ実施に向けて調整を行う。	東京藝大と連携して新たなワークショップを実施する。
②	28年度の壁画制作に向け、制作場所付近の住民を対象としたワークショップを行い、デザイン案を作る。	デザイン案を協議し、平成28年度にはスタンプを使った壁画を作成することとなった。	壁画近隣のひぐらし小学校児童を対象に壁画ワークショップを実施する。
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
重点的に推進	重点的に推進	藝大との連携により、芸術家の活動を支援するとともに、区民に身近な場所で質の高い芸術作品・芸術家と接する機会を提供していく。

況議 (要 旨) 会 質 問 状	
------------------------------------	--

# 事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-01-12	戦略プラン	●協働	○業務	○財務	○人事
事務事業名	俳句文化振興事業	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	佐藤	担当者名	高田
							内線
							2521
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	01-10-01	俳句文化振興事業					
事務事業の種類	●新規事業（○28年度 ●27年度）			○建設事業		●それ以外の継続事業	
開始年度	○昭和 ●平成	27年度	根拠				
終期設定	○有 ●無	年度	法令等				
実施基準	○法令基準内	○都基準内	●区独自基準	計画区分	○計画	●非計画	
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市				
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進				
	施策	01	芸術・文化の振興				
目的	「荒川区俳句のまち宣言」に基づき、俳句のまちであることを区内外へ強く発信し、子どもから大人まで俳句文化の裾野を広げ、豊かな心を育むとともに、矢立初めの地千住を始めとした俳句に縁のある観光スポットを、区内外に向け広くPRすることで、誘客を促進し、地域の賑わいを創出する。						
対象者等	区民及び区外からの来訪者、俳句サミット加盟自治体等						
内容	<<平成27年度の主な取組>> ①著名な俳人による講演会の開催。 ②投句事業の実施（「さくら投句会」、「あらかわ俳壇」、「さくら鑑賞会」等） ③俳句宣言銘板の制作設置（区内5か所）、俳句タイルの制作・設置（区内5か所） ④PRグッズ制作・配布（「荒川区俳句のまち宣言」多言語版パンフレット、一筆箋・俳句手帳等） ⑤PR映像～俳句のまちあらかわ～を制作  <<平成28年度の新規取組>> ①英語俳句手帳の制作 ②中学生を対象とした俳句ハイクの実施						
経過	荒川区は「奥の細道矢立初めの地」であり、日ぐらしの里（日暮里）も江戸の名所として知られ、多くの文人達が足跡を残した俳句にゆかりの地である。これまでも、子ども俳句相撲大会の開催や奥の細道サミットへの参加、むすびの地・大垣市との交流、区内小中学校における取組などを通じて俳句文化の振興を図ってきた。 平成27年3月「奥の細道千住あらかわサミット」の開催を契機として「荒川区俳句のまち宣言」を行い、更なる俳句文化の振興を図る。  平成27年3月14日 奥の細道千住あらかわサミットにて「荒川区俳句のまち宣言」を発表 平成27年度：あらかわ俳壇、俳句宣言銘板・俳句タイルの制作・設置、PRグッズ、俳句手帳の作成 平成28年度：英語俳句手帳の作成、俳句ハイクの実施						
必要性	俳句にゆかりの地として、俳句文化の更なる振興を図り、豊かな俳句の心を育み、幸せと活気に満ちた魅力あふれる荒川区をめざすとともに、俳句による地域振興・観光振興等を図ることができる。						
実施方法	（1直営） （直営の場合 ●常勤 ○非常勤 ○臨時職員）						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
予算額	—	—	—	—	0	4,474	2,905	
①決算額（28年度は見込み）	—	—	—	—	0	3,091	2,905	
②人件費等						5,464		
③減価償却費						2,423		
【事務分担量】（%）						71		
合計（①+②+③）	0	0	0	0	0	10,978	2,905	
特定財源								
国								
都								
その他								
一般財源	0	0	0	0	0	10,978	2,905	
実績の推移	事項名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	投句事業（年間）						4	4
	俳句タイルの設置						5	3

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
			報償費	講師謝礼	146	報償費	講師謝礼	171
			旅費	職員旅費	111	旅費	職員旅費	359
			需用費	消耗品購入	1,736	需用費	消耗品購入	961
			委託料	銘板設置	320	役務費	広告費	265
			使用料等	施設使用料	51	委託料	俳句タイル作成	300
			工事請負費	俳句タイル設置	227	使用料等	団体旅費	699
			備品購入費	彫刻購入	500	工事請負費	俳句タイル設置	150

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度 見込み	目標値 (28年度)	
標	① 投句事業への投稿句数			855	900	900	
	②						
	③						

（問題点・課題 指標分析）	①俳句文化の裾野を広げるため、投句数を増やしていく。 ②俳句事業の参加者に偏りがあるため、広く他の世代も参加できる事業を行う必要がある。
	（実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区）
他区の実 施状況	

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む 具体的な改善内容	平成27年度に実施した 改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む 具体的な改善内容
①	俳句文化の裾野を広げるため、投句事業を実施する。	投句事業を3回、講演会を1回実施した。	事業実施に関する広報を徹底し、新たに区ホームページからの投句を行うことにより、投句数を増やす。
②	俳句事業の参加者に偏りがあるため、広く他の世代も参加できる事業を行う必要がある。	俳句の作り方を解りやすくまとめた俳句手帳を作成し、各小中学校に配布した。	中学生を対象とした俳句のバスツアーを検討する。
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
重点的に推進	重点的に推進	俳句を通じた地域の文化振興への取り組みは、区の重要な役割である。

況議 （要 旨） 会 質 問 状	・H27年2月会議 俳句宣言後の取組について
------------------------------------	------------------------

# 事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-01-13	戦略プラン	○協働	○業務	○財務	○人事
事務事業名	公益財団法人荒川区芸術文化振興財団 補助	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	佐藤	担当者名	榊
				内線	2522		
事務事業を構成する小事業名 及び予算事業コード（28年度）	01-01-01	財団職員人件費					
	01-02-01	財団運営費（財団運営費）					
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度）			○建設事業		●それ以外の継続事業	
開始年度	●昭和 ○平成		63年度	根拠	地・自法232の2、公益財団法人荒川区芸術文化		
終期設定	○有 ●無		年度	法令等	振興財団に対する助成等に関する条例		
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	○計画		●非計画	
行政評価 事業体系	分野	V	文化創造都市				
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進				
	施策	9月1日	芸術・文化の振興				
目的	公共性と収益性のある芸術文化のための公益法人を育成することにより、事業の充実や新たな展開をはかり区民サービスを充実させる。あわせて、将来的に区財政の負担軽減を図る。						
対象者等	公益財団法人荒川区芸術文化振興財団						
内容	<p>本事業は芸術文化振興財団助成事業のうち、職員人件費及び財団運営に必要な運営費、理事会評議員会に関する経費、財務管理システム経費を補助するものである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度(4月1日現在)</li> <li>常勤職員：理事長1人（固有）、事務局長1人（固有）、管理係3人（派遣）、文化事業係4人（派遣） ＜派遣職員7人、固有職員2人、非常勤職員7人＞</li> <li>運営費：光熱水費、消耗品費、健康診断費、通信運搬費、複写機等賃借料等</li> <li>理事会評議員会経費：理事会（13人）、評議員会（19人）開催に係る経費</li> <li>財務管理システム経費：データ回線使用料、システム機器リース経費等</li> </ul>						
経過	<p>平成18年度：町屋文化センター（所管：社会教育課）及び荒川遊園（所管：公園緑地課）の指定管理者となる。地域振興公社の所管課は区民生活部文化交流推進課となる。</p> <p>平成20年度：荒川遊園事業部長を設置。</p> <p>平成21年度：理事長を常勤職員（固有）とし、管理係を1名増員。管理係に遊園安全担当係長を設置。</p> <p>平成22年度：事務局長を固有職員とする。管理係に人材派遣職員を1名採用。</p> <p>平成23年度：理事長と事務局長を兼務とし、管理係の人材派遣職員を1名減。荒川遊園の指定管理を終了（区直営となったため）</p> <p>平成24年度：事務局長を配置し、理事長の兼務を解消。公益財団法人へ移行（4月1日）</p> <p>平成26年度：次長職を設置</p> <p>平成27年度：次長職を廃止し、文化事業係の派遣職員数を1名増</p>						
必要性	芸術文化事業の実施団体として、その活動を支援していく必要がある。 また、荒川区芸術文化振興財団の効率的な運営のため職員体制の確保は不可欠である。						
実施方法	（1直営）（直営の場合 ●常勤 ○非常勤 ○臨時職員） 補助金の交付						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
予算額	71,606	118,059	13,786	49,257	49,728	49,556	53,094	
①決算額（28年度は見込み）	71,606	80,085	12,007	47,807	43,764	48,449	53,094	
②人件費等	174	423	826	416	386	308		
③減価償却費	58	156	323	169	163	137		
【事務分担量】（%）	2	5	10	5	5	4		
合計（①+②+③）	71,838	80,664	13,156	48,392	44,313	48,894	53,094	
特定財源								
国	0	0	0	0				
都	0	0	0	0				
その他	0	0	0	0				
一般財源	71,838	80,664	13,156	48,392	44,313	48,894	53,094	
実績の推移	事項名							
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
派遣職員数	8	6	6	6	7	7	7	
固有職員数	3	1	2	2	2	2	2	
非常勤職員数	13	4	7	7	7	7	7	

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
負担金補助等	財団職員人件費	37,501	負担金補助等	財団職員人件費	38,685	負担金補助等	財団職員人件費	42,547
負担金補助等	財団運営費	6,262	負担金補助等	財団運営費	9,764	負担金補助等	財団運営費	10,547

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度見込み	目標値(28年度)	
標	① 友の会会員数	367	505	406	520	520	
	②						
	③						

（問題点・課題 指標分析）	区と緊密に連携し、円滑な事業運営と柔軟性を発揮した事業展開が求められる。						
	他区の実況	（実施 12 区 未実施 0 区 不明 10 区）					

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	継続してコスト削減に努めるほか、26年度の検討内容に基づく事務効率化と、その効果について検証を進める。	自主事業及び共催事業の実施にあたり、コスト削減に努めたほか、事務分担を見直し、事務の効率化を図っている。	円滑に財団運営できるよう、継続してコスト削減と事務の効率化に努める。
②			
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
推進	推進	芸術文化振興の担い手としてのACCへの補助が必要である。ACCの効率的な運営のため、職員体制確保は不可欠である。

況 議 （ 要 旨 ） 問 状	
--------------------------------------	--

# 事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-01-14	戦略プラン	<input type="checkbox"/> 協働	<input type="checkbox"/> 業務	<input type="checkbox"/> 財務	<input type="checkbox"/> 人事
事務事業名	ほっとタウン発行（芸術文化振興財団費）	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	佐藤		
		担当者名	榊	内線	2521		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	01-02-02	ほっとタウン発行（財団運営費）					
事務事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規事業（ <input type="checkbox"/> 28年度 <input type="checkbox"/> 27年度）		<input type="checkbox"/> 建設事業	<input checked="" type="checkbox"/> それ以外の継続事業			
開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 63年度		根拠	地・自法232の2、公益財団法人荒川区芸術文化振興財団に対する助成等に関する条例			
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無		法令等				
実施基準	<input type="checkbox"/> 法令基準内	<input type="checkbox"/> 都基準内	<input checked="" type="radio"/> 区独自基準	計画区分	<input type="checkbox"/> 計画	<input checked="" type="radio"/> 非計画	
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市				
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進				
	施策	01	芸術・文化の振興				
目的	区内で行われる芸術文化活動の情報や区内で活躍する個人や団体の活動などを紹介し、区の広報誌では伝えきれない地域の文化情報を区民へ提供する。						
対象者等	公益財団法人荒川区芸術文化振興財団（H24.4.1公益財団法人に移行し名称変更）						
内容	芸術文化振興財団助成事業のうち、情報提供事業である「ほっとタウン」の発行にかかわるものである。 ・発行部数 76,500部 ・毎月1回新聞折込で区内全域に配布する。（朝日、読売、毎日、日経、産経、東京新聞 76,500部） ・荒川区内 駅スタンド、荒川区施設、一部コンビニエンスストアにて配布。 ・8ページ（平成18年度以前は年間で4ページが10回、8ページが2回・平成19～22年度 6ページ） ・オールカラー（平成18年度以前は中面モノクロ） ・平成26年広告掲載取扱要綱を一部改正し、広告区分を変更 広告料 大広告2・3・4・5・6・7面→ A 35,000円、B 70,000円、C 140,000円、D 35,000円、E 15,000円 8面→ A 40,000円、B 80,000円、C 160,000円、D 掲載不可、E 掲載不可 ミニ広告 1行（14文字）→ 600円						
経過	平成19年～22年度は6ページ、オールカラー 平成23年4月1日号より8ページ、オールカラー 《事業費推移》 平成21年度 19,037,340円 平成22年度 19,037,340円 平成23年度 16,997,400円 平成24年度 17,016,300円 平成25年度 17,292,504円 平成26年度 16,602,774円 平成27年度 16,595,135円						
必要性	芸術文化事業の情報提供に不可欠な情報誌である。						
実施方法	（1直営） （直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員） 補助金の交付						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算額		8,198	9,350	9,350	8,813	9,350	9,350
①決算額（28年度は見込み）		8,198	8,542	9,300	8,813	9,350	9,350	9,350
②人件費等		87	423	826	416	386	308	
③減価償却費		29	156	323	169	163	137	
【事務分担量】（%）		1	5	10	5	5	4	
合計（①+②+③）		8,314	9,121	10,449	9,398	9,899	9,795	9,350
特定財源	国	0	0	0	0			
	都	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	8,314	9,121	10,449	9,398	9,899	9,795	9,350
実績の推移	事項名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	大広告件数	105	120	120	98	97	90	95
	ミニ広告件数	163	127	94	70	89	68	70

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
負担金補助等	ほっとタウン発行	9,350	負担金補助等	ほっとタウン発行	9,350	負担金補助等	ほっとタウン発行	9,350

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度見込み	目標値(28年度)	
標	① 芸術文化・地域振興事業来場者数	52,697	52,925	35,121	53,000	53,000	27年度はサンパール事業がないため、減少
	②						
	③						

（問題点・課題 指標分析）	広告収入の安定的な確保及び経費の効率的執行を検討し、さらなる魅力的な紙面作成の努力が必要である。
	（実施 12 区 未実施 0 区 不明 10 区）
他区の実況	

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	引き続き広告収入の安定化を図ると共に、26年度に検討した改善案に基づき、新たな紙面内容での発行を開始する。	広告収入の安定化に努める一方、事業の魅力についての特集ページを設けるなど紙面内容の充実を図った。	引き続き広告収入の安定化を図るとともに、魅力的な紙面作成について研究、実践する。
②			
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
推進	推進	区内の芸術文化振興のための情報提供に不可欠な情報誌発行事業である。

況議 （要 旨） 問 状	
--------------------------	--



# 事務事業分析シート（平成28年度）

No1

主要事業	事務事業コード	04-01-15	戦略プラン	○協働	○業務	○財務	○人事
事務事業名	芸術文化・地域振興事業（芸術文化振興財団費）	部課名	地域文化スポーツ部文化交流推進課	課長名	佐藤	担当者名	榎
				内線	2521		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（28年度）	01-02-03	芸術文化・地域振興事業費					
事務事業の種類	○新規事業（○28年度 ○27年度）			○建設事業		●それ以外の継続事業	
開始年度	●昭和 ○平成 63年度		根拠				
終期設定	○有 ●無 年度		法令等				
実施基準	○法令基準内 ○都基準内 ●区独自基準		計画区分	●計画		○非計画	
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市				
	政策	09	伝統文化の継承と都市間交流の推進				
	施策	01	芸術・文化の振興				
目的	サンパール荒川、日暮里サニーホール、ムーブ町屋などの区民ホールで、芸術文化事業を公演することにより、荒川区における芸術文化の振興と区民文化の活性化を図る。						
対象者等	公益財団法人荒川区芸術文化振興財団（H24.4.1公益財団法人に移行し名称変更）						
内容	芸術文化振興財団事業のうち、芸術文化及び地域の振興にかかわる事業に対する補助である。 [定期事業] 荒川区民交響楽団・第九演奏会、小泉定弘写真展、都電写真コンテスト 等 [その他事業実績] ・25年度 あらかわ舞台芸術創造プロジェクト「能×OPERA」、が～まるちよば「東京JACK」、春風亭小朝・三遊亭円楽二人会 等 ・26年度 五木ひろしコンサート、人形浄瑠璃「文楽」（一般鑑賞、学校鑑賞）、あらかわ手づくり市等 ・27年度 ARAKAWAクラシックBOX、親と子の舞台芸術シリーズ 舞台「おいしいのぼうけん」 等						
経過	平成24年度：公益財団法人に移行し名称変更（H24.4.1）。区民課にて施設使用料のみ負担（附帯設備はACCの負担）。 ARAKAWA1-1-1 ギャラリー開設（H24.6.1） 平成25年度：教育委員会との連携事業を実施。（汐入小学校にて授業内で能楽体験・全中学生を対象に文楽の鑑賞会） 平成26年度：自主事業で子ども向け演劇ワークショップを実施 平成27年度：サンパール荒川改修工事のため1-1-1ギャラリーを休止したほか、例年サンパールで開催してきた「荒川第九演奏会」を南千住第二中学校で、「フレッシュ名曲コンサート」を日暮里サニーホールで実施した。 平成28年度：1-1-1ギャラリーの再開（相談業務は町屋文化センターの窓口で実施）						
必要性	荒川区芸術文化振興財団の最も重要な使命である芸術文化事業実施のための補助であり必要である。						
実施方法	（1直営）（直営の場合 ●常勤 ○非常勤 ○臨時職員） 補助金の交付						

（単位：千円）

予算・決算額等の推移		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算額		33,250	46,196	45,637	45,184	45,184	27,319
①決算額（28年度は見込み）		30,220	45,196	27,995	29,501	24,591	18,101	45,184
②人件費等		87	423	826	416	386	308	
③減価償却費		29	156	323	169	163	137	
【事務分担量】（%）		1	5	10	5	5	4	
合計（①+②+③）		30,336	45,775	29,144	30,086	25,140	18,546	45,184
特定財源	国	0	1,000	0	0			
	都	0	0	0	0			
	その他	0	0	0	0			
	一般財源	30,336	44,775	29,144	30,086	25,140	18,546	45,184
実績の推移	事項名	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	チケット収入率（%）	42	42	46	33	39.5	26.8	30
	参加・体験型事業件数	9	11	23	22	29	20	30
	芸術文化・地域振興事業来場者数	32,381	41,557	52,108	52,697	52,925	35,121	53,000

予算・決算の内訳								
平成26年度（決算）			平成27年度（決算）			平成28年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
負担金補助等	芸術文化・地域振興事業費	24,591	負担金補助等	芸術文化・地域振興事業費	18,101	負担金補助等	芸術文化・地域振興事業費	45,184

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		25年度	26年度	27年度	28年度見込み	目標値(28年度)	
標	① チケット収入率（%）	46	39.5	26.8	35	35	自主事業収入額÷支出額(24年度以降支出額に会場費含まず)
	②						
	③						

（問題点・課題分析）	荒川区の芸術文化振興の中心的担い手として、区民や団体の活動支援、区の将来を担う子どもたちを中心とした人材育成に貢献する事業を推進する必要がある。また、サンパール荒川のリニューアルを受け、さらなる事業を充実させ、1-1-1ギャラリーの有効活用も検討していく。						
	他区の実況	（実施 12 区 未実施 0 区 不明 10 区）					

問題点・課題の改善策			
	平成27年度に取り組む具体的な改善内容	平成27年度に実施した改善内容および評価	平成28年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	次世代を育成する取り組みを推進するとともに、26年度の検討結果を踏まえ、実施する。	子ども向け演劇ワークショップ等、次世代を育成する取組を推進した。	新たな体験型ワークショップ等、次世代を育成する取組を推進する。
②	28年度のサンパール再開に向けて、ギャラリーで展開すべき事業内容と再設置後の具体的な運営形態等について検討を行う。	サンパール再開後のギャラリー運営について改善を図るほか、様々な既存事業について充実、改廃が可能なか検討した。	事業の改善・見直しを図り、区民ニーズに応え、芸術文化振興のための人材育成に資する事業展開に努める。
③			

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
28年度	29年度	
重点的に推進	重点的に推進	ACCの設立趣旨である、「荒川区における芸術文化の振興を図り、地域社会の発展と区民生活の向上に資する」ための事業実施に必要な補助である。

況議 （要 会 質 問 状）	
-------------------------------	--